

今小路通り歩行者尊重道路

専門部会ニュース

第 14 号

平成 19 年 6 月発行

今小路通り歩行者

尊重道路専門部会

第14回専門部会を5月16日に開催しました。

第 12 回ワークショップが開かれました。

今後、ワークショップで議論を重ねていく3つのプランを選びました。

第12回ワークショップでは、各委員から提案された全てのプランについて比較検討を行い、今後ワークショップの中で議論したいプランを投票により選びました。

投票数が多く選ばれたプランは、

『鉄の井交差点を小町通りから左折禁止とする。』（7時から17時）。

『今小路通りから鉄の井の間と、御成小学校から六地藏の間を、終日一方通行として歩行空間を拡充する。』

『現行どおりの交通規制』の3プランです。（投票結果表並びにプラン図参照）

今後ワークショップでは、「オープンワークショップ」などを開催し、多くの方の意見を伺いしながら、「8つの計画課題」（別表を参照）をより多く解決するため、3つの交通規制（案）を中心に、ハード（施設整備）を含めた「今小路通り歩行者尊重道路」の整備計画（案）の議論を行います。

第 14 回今小路通り歩行者尊重道路専門部会次第

1. 報告・確認事項
 - ア. 配布資料の確認
 - イ. 第 12 回及び第 13 回専門部会議事録の確認
2. ワークショップ ~ 第 12 回 ~
整備プランの策定について（第 6 回）
前回のおさらい ~ 集計結果の総括 ~
整備プランの絞り込み
グループ分け
グループ会議
3. 本日のまとめ
4. その他
第 15 回専門部会の日程等について

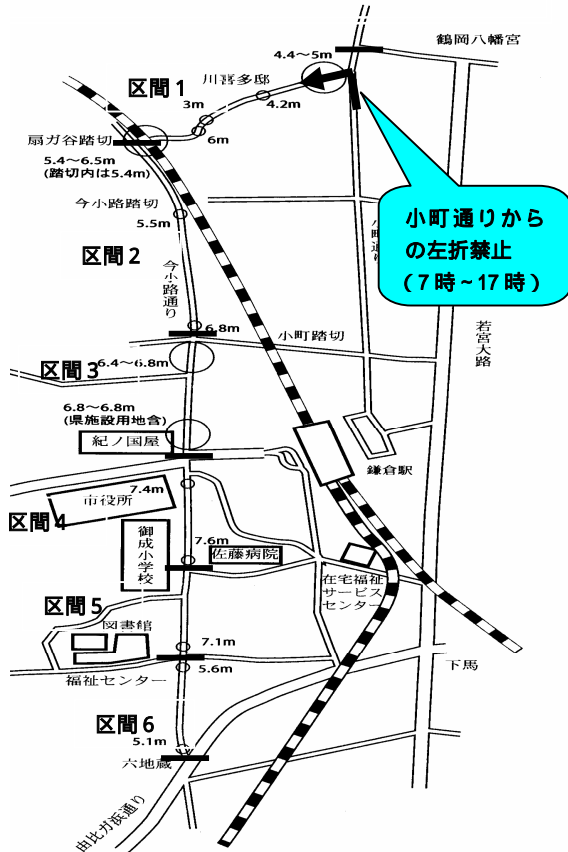


整備プランの検討シート～交通規制に関する事項～ 投票結果とプラン図

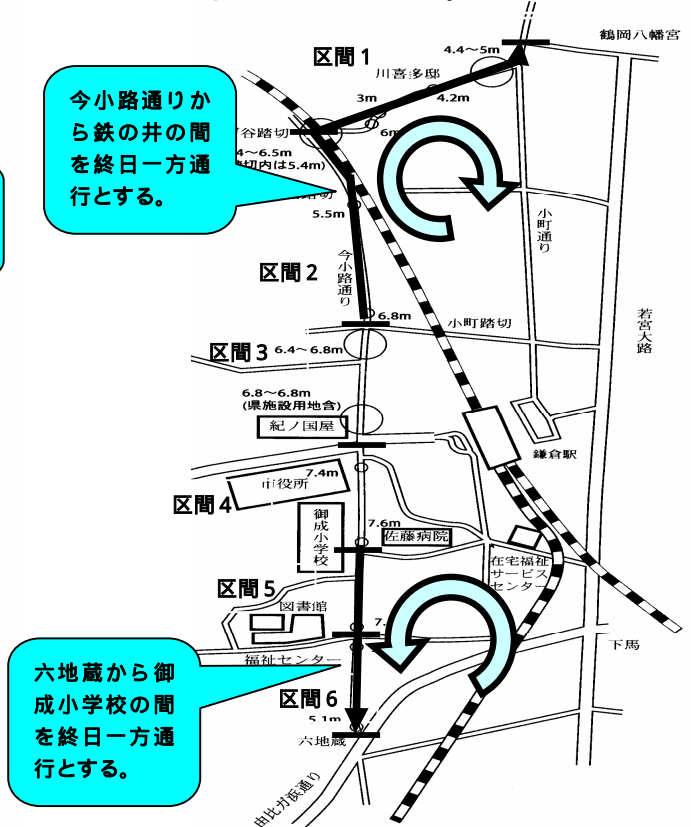
	整備プラン	投票欄
1	正月に施行されている交通規制を参考に土日、休日は車両進入禁止とする。	土日・休日限定プランなので、今回は投票しない。
2 - A	鉄の井～八幡宮への右折禁止により交通量を削減する。(併せて、小町踏切の扇ガ谷から左折を可とする。)	
2 - B	小町通りからの左折禁止(7時～17時)	6
2 - C	鉄の井の進入禁止の時間延長(7時～18時)	3
3 - A	今小路通り 鉄の井、御成小学校 六地藏方向終日一方通行とし歩行空間を充実する。	7
3 - B	寿福寺から鉄の井を東向き的一方通行にする。	—3—
3 - C	今小路通り 鉄の井方向の終日一方通行とし歩行空間を拡充する。	
3 - D	御成小学校 六地藏方向までの一方通行の時間延長。	4
3 - E	寿福寺 鉄の井、若宮大路 小町踏切、御成小学校 六地藏方向の終日一方通行とする。鉄の井からはバイクの進入禁止。今小路通りへは、中型トラックの進入禁止。	5
4	特区として車の速度規制(20km/h)にする。	他のプランに追加が可能なプランなので、今回は投票しない。
5	現行どおりの交通規制	7

投票により選ばれた3つのプラン

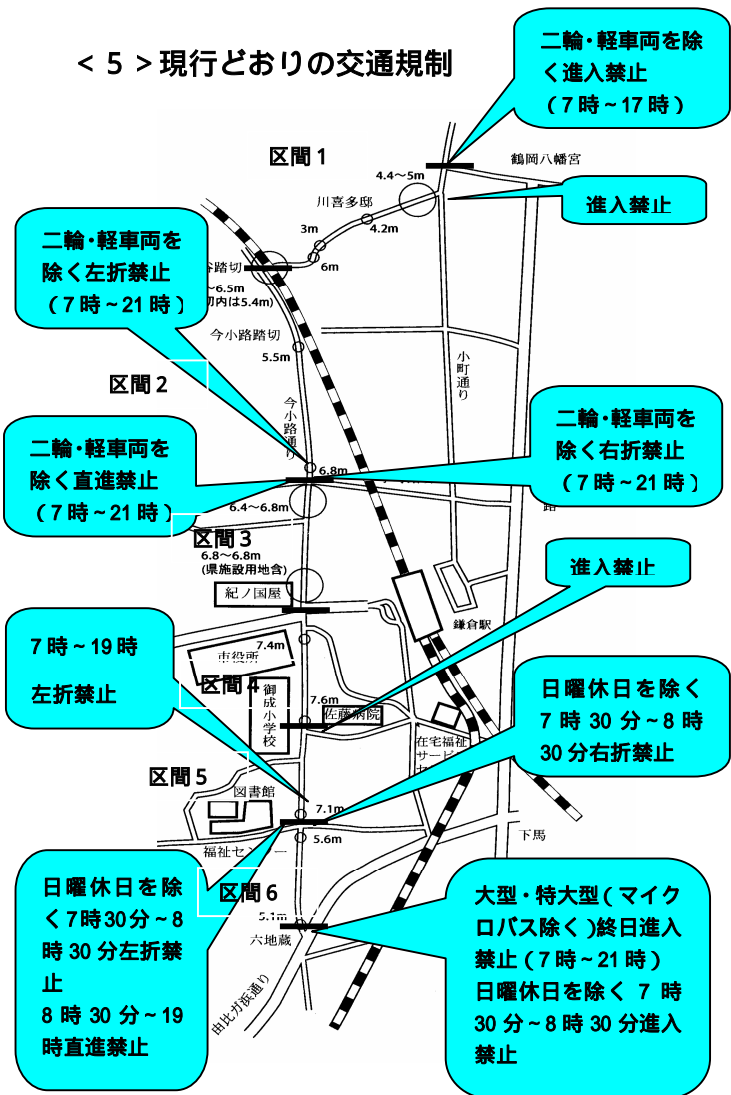
< 2 - B > 小町通りからの左折禁止
(7時～17時)



< 3 - A > 今小路通り 鉄の井、御成小学校
六地藏方向の終日一方通行とし、
歩行空間を拡充する。



< 5 > 現行どおりの交通規制



今小路通りを歩きやすい道にするための「8つの計画課題」

- 計画課題**
車の速度をコントロールする。
- 計画課題**
全体的に車両の動線が不適切である。車両の動線は適切か(特に若宮大路との出入りは確保されているか。)
- 計画課題**
鉄の井付近で歩行者と車、車相互が錯綜している状況を改善出来るか。
- 計画課題**
区間1で、歩行者と車、車相互が錯綜している状況を改善出来るか。
- 計画課題**
扇ガ谷踏切付近で、車両が並ぶと安心して歩行できる場所が無い。また、扇ガ谷へ向う車両が錯綜している。その状況を改善出来るか。
- 計画課題**
扇ガ谷踏切から小町踏切の間は道路幅員が狭く安心して歩行できる空間が無い。その状況を改善出来るか。
- 計画課題**
区間3と区間5は、既設歩道が狭いため十分な歩行空間が無い。その状況を改善出来るか。
- 計画課題**
区間6は歩道が無いため歩行者が安心して歩行できる空間が無い。その状況を改善出来るか。

今小路通り歩行者専用道路

専門部会の今後の進め方

第14回専門部会において、今後議論を重ねていく3つのプランを委員の投票により選びました。

これまでは、交通規制を中心に話し合われてきましたが、今後は「8つの課題」をより多く解決するため、ハード整備も含め総合的に議論を進めていきます。

また、専門部会の議論を広く市民の方に伝えるとともに、市民の方の意見を聞き、市民合意を得た整備計画(案)を作成するため、「オープンワークショップ(次頁スケジュール参照)」を皮切りに、各自治町内会や商店会での説明会並びに地下道ギャラリーでの展示、市民アンケートなど、「ご意見をお聞きしながら整備計画(案)の見直し等を行います。」

見直し後、「鎌倉市交通政策研究会」へ報告を行い、最終整備計画(案)として確定したいと考えています。

現在、電話や書面(市民の声)等で、皆様からご意見が寄せられています。ご意見については、その都度「専門部会」に報告をし、整備計画(案)の策定に役立てたいと考えています。

今小路通り歩行者尊重道路

専門部会の今後のスケジュール

- 平成19年6月
整備計画(案)づくり
- 平成19年8月
オープンワークシヨップの準備
地元の住民・商業者等への周知
(専門部会ニュース)
- 平成19年9月
オープンワークシヨップ
- 平成19年10月
自治町内会・商店会への説明
地下道ギャラリー展示
市民への周知と意見の収集
(広報かまくら・ホームページ)
- 平成19年11月
整備プランの再検討
関係機関との協議調整
- 平成19年12月
最終整備プラン(案)作成
鎌倉市交通政策研究会への報告
御成小学校六年生への報告会

編集後記

6月6日からドイツで始まった主要国サミットの議題に気候変動が取り上げられています。

日本でも、これまで「台風は秋にやってくるもの」と思われていましたが、最近では7月に日本に上陸する台風も珍しくなくなりました。また、台風がたどるルートも、日本付近では西から東上するのが通常でしたが、2004年7月末に発生した台風のように、東から西へ移動し上陸するものや、日本近海で発生するものもあり、「地球温暖化の影響では？」などという憶測も出ています。

動植物の世界でも色々なことが静かに起きています。南方系のチョウ、「ナガサキアゲハ」が1940年代は、九州・四国南部が北限でしたが、80年代から和歌山県・兵庫県などで観察され、2000年以降は関東地方でも観察されました。

また、「ソメイヨシノ」の平均開花日が、年々早くなっているとお気づきの方もいると思います。

南太平洋のツバル(伊豆大島の1/4の大きさの国)では、海面上昇の影響から国民を移住させる準備に入っているとの報道もあります。

地球温暖化の原因には様々なものがあり、車から排出される二酸化炭素もその一因です。地球温暖化を防止するためには、出来ることから取り組んでいくことが大切です。私たち一人ひとりが車の使い方を含め、生活全般を見直すことも必要ではないでしょうか。

専門部会への意見募集

「今小路通り歩行者尊重道路専門部会」では、整備計画について皆様からのご意見を募集しています。

「今小路通り歩行者尊重道路専門部会」事務局(交通政策課)まで、ご意見をお寄せください。

TEL: 0467-23-3000(内線2510)

FAX: 0467-23-5820

E-mail koutsu@city.kamakura.kanagawa.jp